

問1 北海道の太平洋沿岸部では、夏季に日照時間が短くなる傾向があります。この要因となる「海霧」が発生するメカニズムについて、正しく述べたものはどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 暖流である日本海流（黒潮）によって温められた空気が、上空の冷たい気団と衝突し、激しい上昇気流が生じることで発生する。 | 2. 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山地を越える際に雪を降らせた後の乾燥した空気が滞留することで発生する。 | 3. 南東から吹く暖かく湿った空気が、寒流である親潮（千島海流）の影響を受けた冷たい海面によって冷却されることで発生する。 | 4. 北東から吹く冷たく湿った風が、高い山脈を越える際に水分を失い、反対側の斜面で高温乾燥した風となって発生する。 |
|---|---|---|---|

問2 北海道の農業において、十勝平野などを中心に大規模に栽培されている「てんさい」の生産背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 冷涼な気候に適した性質を持つため、日本では北海道が唯一の産地となっている。 | 2. 水はけのよいシラス台地の特性を活かし、寒冷地でも育つよう品種改良された。 | 3. 亜熱帯の気候に適しており、かつては沖縄で栽培されていたものが伝わった。 | 4. 温暖な気候を好む性質を持つため、夏場の長い日照時間を活かして栽培される。 |
|--|---|--|---|

問3 北海道の石狩平野など、かつて植物が十分に分解されずに積み重なった湿地が広がっていた地域において、農業を可能にするために行われた土地改良の説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では耕地面積のほぼすべてが畑や牧草地として利用されています。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 気温の低さを克服するために、農地の周囲に防風林を設置し、ビニールハウスなどの温室栽培のみに特化した。 | 2. 海岸線を大規模に埋め立てる「干拓」を行い、塩分を抜くことで大規模な機械化農業に適した土地を造成した。 | 3. 大規模なダムを建設して灌漑用水を確保し、もともと乾燥していた土地を水田へと変えるための水路を整備した。 | 4. 他の土地から性質の異なる土を運び入れる「客土」を行い、あわせて排水施設を整備して土地を乾かした。 |
|---|---|--|---|

問4 北海道の知床半島は世界自然遺産に登録されており、地域の自然環境を保護しながら、その価値を観光客に伝える「エコツーリズム」が推進されています。この取り組みの具体的な事例として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 旭川市の動物園で見られるような、動物本来の動きを間近で観察できる行動展示の導入 | 2. 野生動物との接触や植生へのダメージを抑えつつ散策を楽しめる、高架木道の整備 | 3. セセコなどのスキー場において、急増する外国人観光客に対応するための多言語表記の充実 | 4. 札幌市で冬の観光振興を目的に行われる、大規模な雪像を展示するさっぽろ雪まつり |
|--|--|--|---|

問5 日本最大の面積を持つ地域における産業構造の特徴について、統計資料から読み取れる傾向として適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。 (2022年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 製造品出荷額等が約25兆円と極めて高く、第2次産業の就業者割合が第3次産業を大きく上回っている。 | 2. 日本最大の面積を持つが、寒冷な気候のため水稲栽培は行われず、サービス業などの第3次産業が就業者の大半を占める。 | 3. 広大な土地を利用した大規模な水稲栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。 | 4. 大規模な土地利用による農業は衰退しており、現在は製造業と観光業のみが地域の主要な産業となっている。 |
|---|--|--|--|

問6 北海道の知床や鹿児島県の屋久島など、貴重な自然環境が残る地域では、観察用のデッキや木道を設置する取り組みが行われています。観光客に地域の自然を体験してもらう一方で、踏みつけなどによって自然が破壊されることを防ぎ、環境の保全と観光を両立させるこのような仕組みを何と呼びますか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|------------------|--------------|------------|
| 1. エコツーリズム | 2. バリアフリースーツーリズム | 3. グリーンツーリズム | 4. マスツーリズム |
|------------|------------------|--------------|------------|

問7 北海道最大の稲作地帯である石狩平野について、農業開発の歴史的な背景や工夫を説明した文として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 冷害を避けるため、石狩川の水を大規模な温水ため池で温めてから田に引く工夫がなされた。 | 2. 火山灰地で水はけが良すぎるため、粘土質の土を混ぜて保水力を高める工事を全域で行った。 | 3. 浅い海や湖を堤防で囲んで排水し、広大な干拓地を造成することで米の生産量を増やした。 | 4. 水分を多く含む農業に不向きな泥炭地を改良するため、他から土を運び入れる客土が行われた。 |
|---|---|--|--|

問8 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|--------------|---------|
| 1. 国連児童基金 | 2. 世界貿易機関 | 3. 東南アジア諸国連合 | 4. ユネスコ |
|-----------|-----------|--------------|---------|

問9 かつて農業に不向きであった石狩平野の泥炭地を、日本有数の稲作地帯へと変えるために行われた工夫や取り組みについて、正しい説明を選んでください。 (2025年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 他の場所から性質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった土地改良を行った。 | 2. 地力を回復させるために、農地を数年ごとに休ませる「輪作」を導入した。 | 3. 大規模な森林伐採を行い、燃やした灰を肥料として土地に混ぜる「焼畑」を繰り返した。 | 4. 高台から水を引くための大規模な「ため池」を建設し、乾燥した土地に水分を供給した。 |
|--|---------------------------------------|---|---|

問10 北海道にある札幌、室蘭、知床などの都市名や地形名の多くに共通する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. 江戸時代に本州から渡った商人たちが、故郷の地名をそのまま付けたものである。 | 2. 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。 | 3. 縄文時代から続く日本の古語が、気候の影響で変化せずに残ったものである。 | 4. 明治時代の開拓使が、欧米の植民地を参考にして英語風の響きを漢字にしたものである。 |
|--|---------------------------------------|--|---|

問11 北海道二セコ町において、飲食業や宿泊業の就業者割合が主な産業の中で最も高くなっている主な理由として、適切なものを選択しなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 冬場にスキーなどのウインタースポーツを目的とした外国人観光客が多く宿泊し、観光関連の需要が高まっているため。 | 2. 年間を通じて温暖な気候を利用したリゾート開発が進み、国内外からの定住者が急増して一次産業を支えているため。 | 3. 豊かな森林資源を活かした木材加工業が発達し、それに伴う作業員の長期滞在用宿泊施設が増加しているため。 | 4. 夏場に大規模な農作物の収穫体験を行うため、世界中から農家や観光客が集まり宿泊施設を長期間利用するため。 |
|---|--|---|--|